

2020年度「多様な場と学びの研究会」

第3回勉強会（全3回）

## 『with/afterコロナのコミュニティのあり方』 -コミュニティはデザインできるか-

2021年2月20日(土) 18:30-20:30  
オンライン (zoom)

自分が所属する「コミュニティ」はいくつありますか？よく考えるといろいろと見つかるはずです。また「コミュニティデザイン」という言葉をご存知でしょうか？60年代からまちづくりの文脈で使われてきたこの言葉は、今では単にハード面を指すだけでなく、市民やNPOなどの対話の場など、ソフト面においても使われるようになりました。

周知の通り、新型コロナウイルスの影響により、多くの場面でオンラインが一般化しました。ときに一度もリアルで対面せず、オンラインのみで完結する場面も増えましたが、果たしてそれでもコミュニティは成立するのでしょうか。マスク着用やソーシャルディスタンスによって、リアルに対面していても以前のようなコミュニケーションが取れない今、コミュニティはどのように変化するのでしょうか。そもそもコミュニティとはデザインできるものなのでしょうか。

今回の勉強会では、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 中村陽一教授から話題提供をしていただき、皆さんと一緒にコミュニティデザインについて考えてみたいと思います。

**講師：**中村 陽一 教授（立教大学21世紀社会デザイン研究科）

**対象：**研究会会員、会員紹介者（研究科院生、学部生、一般）

**定員：**20名（定員になり次第締切）

**費用：**無料

**方法：**ZOOM（趣旨説明、講演、フリートーク）によるオンライン勉強会

・ZOOMアプリをインストール済のPCまたはスマートフォンなどが必要です

・録画を予定しています

（録画資料は報告書の作成・広報などに活用させていただく場合がございます）

**申込：**事前に [tayounabatomanabi@gmail.com](mailto:tayounabatomanabi@gmail.com) までメールでお申込みください

・会員紹介者の方は、申込の際、「氏名」「メールアドレス」「紹介者氏名」を明記ください

・申込された方には、後日視聴URL・ID・パスワードをメールにてご連絡いたします

**主催：**立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科社会デザイン研究所  
多様な場と学びの研究会 研究員 石崎・高瀬・長澤